

 第104回全国高校野球選手権青森大会

光星・仲井監督に聞く 「集中して全力出し切った」

インタビューを受ける八学光星・
仲井宗基監督



工大一との八戸勢対決を制し、3年ぶり11度目の優勝を果たした八学光星を率いる仲井宗基監督（52）。「最後まで集中して全力を出し切った」と、接戦をものにした選手たちをたたえた。一問一答は次の通り。

（聞き手・大西桂介）

― 勝因は。
試合前から選手には総力戦になると言っていた

― 初回のピンチの場面を併殺で切り抜けたことで、うちのペースに持ってこられた。
― 投手を6人全員投入した。
6投手が束になって立ち向かい、何とか勝利につなげた。まさか6人も使うことになるとは思っていなかったが、最後は洗平歩人が苦しい場面でしっかりと投げて、エー

スらしい働きをしてくれた。

― 大会を振り返って。組み合わせが決まった時から、苦しい大会になると思っていたが、相手チームのデータをとことん分析し、勝ち抜くことができた。正直最後まで本当にしんどかった。

― 工大一高に対して。機動力に優れてバントもうまい、手ごわいチームだった。最後に素晴らしいゲームができたことに感謝したい。

― 甲子園へ向けて。技術的にまだまだ未熟で、このままでは勝てない。打撃も守備も、もう一段上のレベルを目指し、青森県代表としてふさわしい戦いができるようにしたい。